

滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付申請書

令和 年 月 日

公益社団法人

びわこビジターズビューロー会長 あて

<申請者>

住所 (法人にあつては所在地)	
氏名 (法人にあつては名称および 代表者氏名)	(印)
旅行業登録番号	
担当者	
電話・FAX	電話: FAX:
メールアドレス	
ツアー番号※	No.

※申請する場合は、申請順にツアー番号を振ってください。

※ツアー終了後、実績報告書兼交付請求書を提出する際にツアー番号が必要となります

下記のとおり標記助成金の交付を受けたいので、滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、この申請にあたり虚偽の申請またはその他不正の手段により助成金の交付を受けたことが判明したときは、同要綱第11条の規定に基づき助成金の交付の決定の全部または一部を取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

添付書類（※以下の書類が揃っているか、ご確認下さい）

- 事業計画書（様式第1号の別紙1）
 - ツアー行程表または企画書（予定表を含む）
（日時、使用するバス会社名、訪れる観光周遊施設、宿泊施設等が確認できるもの）
 - 誓約書（様式第1号の別紙2）
 - 口座振込依頼書（様式第1号の別紙3）
 - 振込口座情報が分かる書類（通帳の写し、キャッシュカードの写し等）
- ※ 誓約書、口座振込依頼書、振込口座情報が分かる書類については、1回目の申請時のみの提出で構いません。

【事業計画書】

ツアー番号

※申請するツアーごとに作成してください。

No.

※ツアー内容が決まっていない場合は事業計画書を「予定」で記入ください。

旅行形態 (いずれかを囲む)	受注型企画旅行	募集型企画旅行		
宿泊・日帰り (いずれかを囲む)	宿泊旅行	日帰り旅行		
旅行者(団体名) または ツアーの名称				
実施日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
使用する貸切バス会社名 バスの種類 (※県内に事業所を有する貸切バス会社に限る)	【会社名】	大型バス	中型バス	小型バス
	【バス会社所在地】	(↑※使用するバスの種類を囲む)		
組み入れる観光周遊施設等				
宿泊施設名 (宿泊旅行の場合)	【施設名】			
	【住所】			
参加予定人数	人(運転手、添乗員等は除く。)			
助成金申請額	円			
助成金内訳	バス	____台 × ____円 = ____円 ※バス1台あたりの助成上限 宿泊: 200,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 100,000円以内において千円単位で記載		
	参加者	____人 × ____円 = ____円 ※参加者1人あたりの助成 宿泊: 5,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 2,000円以内において千円単位で記載		
	合計	____円		

滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付申請書

令和2年 9月〇〇日

公益社団法人

びわこビジターズビューロー会長 あて

<申請者>

住所 (法人にあっては所在地)	大津市〇〇町〇-〇-〇	
氏名 (法人にあっては名称および 代表者氏名)	株式会社 〇〇 代表者 滋賀 太郎	(印)
旅行業登録番号	滋賀県知事登録 旅行業 第〇-〇〇〇号	
担当者	滋賀 花子	
電話・FAX	電話 077-000-0000	FAX:077-000-000
メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇	
ツアー番号※	No. 1	

※事業計画書にも
同じ番号を記載

※申請する場合は、申請順にツアー番号を振ってください。

※ツアー終了後、実績報告書兼交付請求書を提出する際にツアー番号が必要となります。

下記のとおり標記助成金の交付を受けたいので、滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付要綱第6条の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、この申請にあたり虚偽の申請またはその他不正の手段により助成金の交付を受けたことが判明したときは、同要綱第11条の規定に基づき助成金の交付の決定の全部または一部を取り消されても、何ら異議の申立てを行いません。

添付書類（※以下の書類が揃っているか、ご確認下さい）

- 事業計画書（様式第1号の別紙1）
- ツアー行程表または企画書（予定表を含む）
（日時、使用するバス会社名、訪れる観光周遊施設、宿泊施設等が確認できるもの）
- 誓約書（様式第1号の別紙2）
- 口座振込依頼書（様式第1号の別紙3）
- 振込口座情報が分かる書類（通帳の写し、キャッシュカードの写し等）

※ 誓約書、口座振込依頼書、振込口座情報が分かる書類については、1回目の申請時のみの提出で構いません。

【事業計画書】

※申請するツアーごとに作成してください。

※ツアー内容が決まっていない場合は事業計画書を「予定」で記入ください。

ツアー番号
No. 1

旅行形態 (いずれかを囲む)	受注型企画旅行	募集型企画旅行		
宿泊・日帰り (いずれかを囲む)	宿泊旅行	日帰り旅行		
旅行者 (団体名) または ツアーの名称	滋賀県ホテル宿泊ツアー			
実施日	令和2年 11月7日(土) ~ 令和2年11月8日(日)			
使用する貸切バス会社名 バスの種類 (※県内に事業所を有する貸切バス会社に限る)	【会社名】 滋賀県株式会社	大型バス	中型バス	小型バス
	【バス会社所在地】 大津市〇〇町1-1	(↑※使用するバスの種類を囲む)		
組み入れる観光周遊施設等	水郷めぐり			
宿泊施設名 (宿泊旅行の場合)	【施設名】 滋賀県ホテル			
	【住所】 大津市〇〇町〇-〇			
参加予定人数	120人(運転手、添乗員等は除く。)			
助成金申請額	1,200,000円			
助成金内訳	バス	$4 \text{台} \times 150,000 \text{円} = 600,000 \text{円}$ ※バス1台あたりの助成上限 宿泊: 200,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 100,000円以内において千円単位で記載		
	参加者	$120 \text{人} \times 5,000 \text{円} = 600,000 \text{円}$ ※参加者1人あたりの助成 宿泊: 5,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 2,000円以内において千円単位で記載		
	合計	1,200,000円		

誓 約 書

私は、下記の事項について誓約します。

なお、必要な場合には、滋賀県警察本部等に照会することについて承諾します。

記

①反社会的勢力でないことに関する事項

1 自己または自社もしくは自社の役員等が、次の各号のいずれにも該当する者ではありません。

- (1) 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「法」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）
- (2) 暴力団員（法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）
- (3) 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を与える目的をもって、暴力団または暴力団員を利用している者
- (4) 暴力団または暴力団員に対して資金等を供給し、または便宜を供与するなど、直接的もしくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、または関与している者
- (5) 暴力団または暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有している者
- (6) 上記(1)から(5)までのいずれかに該当する者であることを知りながら、これを不当に利用するなどしている者

2 1の(2)から(6)に掲げる者が、その経営に実質的に関与している法人その他の団体または個人ではありません。

②新型コロナウイルス感染拡大防止に関する事項

- (1) バス乗車時等に際して、感染予防策を講じた上で旅行者全員に検温と本人確認を実施します。
- (2) 旅行者に検温等の体温チェックを実施、発熱がある場合や風邪症状がみられる場合には、滋賀県帰国者・接触者相談センター等へ相談し、適切な対応をとることができます。
- (3) 各施設等の共有施設の利用について、人数制限や時間制限などを設け、3密対策を徹底することができます。
- (4) 食事の提供において、食事の個別提供、従業員による取り分け、もしくは個別のお客様専用トングや箸等を用意し共有を避けるなど料理の提供方法を工夫し、また、座席の間隔を離すなど、3密対策を徹底します。
- (5) 各施設の共有スペース等の消毒・換気を徹底します。
- (6) 旅行者においてツアー全般において感染防止対策を徹底する調整を行っていることを対外的に公表するため、「感染予防対策実施宣言書」等を掲示することに努め、ツアーで利用する宿泊施設や観光施設等においても同宣言書を掲示してもらえるように努めます。また、新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の活用にも努めます。
- (7) 旅行商品の予約、購入時等に旅行者が順守すべき事項を周知徹底します。また、若者の団体旅行、重症化しやすい高齢者の団体旅行、大人数の宴会を伴う旅行は、一般的にリスクが高いと考えられるため控えることが望ましいことを理解します。ただし、それ

だけをもって一律に支援の対象外とするものではなく、修学旅行・教育旅行などのように、着実な感染防止対策が講じられていることを前提に、適切に旅行が実施されるべきことを周知徹底します。

(8)貸切バス旅行連絡会が策定した「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」等、旅程において各業界のガイドラインを遵守します。

(9)旅行事業者が申請したツアーにおいて上記(1)～(8)の条件を満たしていないことが発覚した場合、申請を取り消す場合があることについて承諾します。

③その他

(1)申請者は、営業に関して必要な許認可等を取得しています。

(2)助成金交付申請書の記載事項および関係書類の内容確認に求められた根拠資料を提出しない場合または記載事項が虚偽であった場合は、助成金を一括返還します。

(3)その他、本助成金の交付にあたり会長が必要と認める書類の提出を求められた場合には速やかに提出します。

(4)要領に定めのある重複申請を禁じられている他事業との併用はしません。

令和 年 月 日

公益社団法人びわこビジターズビューロー会長 あて

〔法人、団体にあつては事務所所在地〕

住 所

〔法人、団体にあつては法人・団体名、代表者名〕

(ふりがな)

氏 名

(代表者印)

様式第2号（第8条関係）

令和2年 月 日

公益社団法人

びわこビジターズビューロー会長 あて

住所（法人にあつては所在地）

氏名（法人にあつては名称および代表者氏名）

(印)

滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金変更（中止）承認申請書

令和2年 月 日付 第 号をもって交付決定の通知があつた上記助成事業を下記のとおり変更（中止）したいので、滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付要綱第8条の規定により申請します。

記

1 ツアー番号

No. _____

2 変更（中止）理由

3 変更内容 ※変更する場合のみ記載

(注) 事業変更に係る事業計画書等、その他事業変更内容を説明する資料を添付すること。

公益社団法人

びわこビジターズビューロー会長 あて

住所（法人にあつては所在地）

氏名（法人等にあつては名称および代表者氏名）

(印)

滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金 実績報告書兼交付請求書

令和 年 月 日付 第 号をもって交付決定の通知があつた上記助成事業について、下記のとおり催行しましたので、滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付要綱第9条の規定により、関係書類を添えて報告し、助成金を請求します。

記

1. ツアー番号 _____ No. _____
2. 交付決定額 _____ 円
3. 交付請求額 _____ 円

※交付決定を受けている事業ごとに交付請求してください。

※交付決定額を超えた助成金の交付請求はできません。

添付書類（※以下の書類が揃っているか、ご確認下さい）

- 実績報告書
- 旅行内容がわかる行程表やチラシ等（日時、バス会社、観光周遊施設、宿泊施設（宿泊旅行のみ）等が確認できるもの）
- 県内に事業所を有するバス事業者の貸切バスを利用したことがわかる領収書（写）（バス会社、バス代金が記載されているもの）
- 観光周遊素材（「観光遊覧船等」、「ロープウェイ・ケーブルカー・リフト等」、「その他有料観光施設のいずれか1か所以上」）を利用したことがわかる書類（観光周遊施設名、代金ならびに利用人数が記載された領収書（写）等）
- 県内宿泊施設を利用したことがわかる書類（宿泊施設名、代金ならびに利用人数が記載された領収書（写）等）

【実績報告書】

(※交付決定を受け、催行したツアーごとに実績報告内容を作成してください。)

ツアー番号
No.

旅行形態 (いずれかを囲む)	受注型企画旅行		募集型企画旅行	
宿泊・日帰り (いずれかを囲む)	宿泊旅行		日帰り旅行	
旅行者(団体名) または ツアーの名称				
実施日	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日			
使用した貸切バス会社名 バスの種類 (※県内に事業所を有する貸切 バス会社に限る)	【会社名】	大型バス	中型バス	小型バス
	【バス会社所在地】	(↑※使用するバスの種類を囲む)		
使用した観光周遊施設等				
宿泊施設名 (宿泊旅行の場合)	【施設名】			
	【住所】			
参加人数	人(運転手、添乗員等は除く。)			
助成金請求額	円			
助成金内訳	バス	___台 × ___円 = ___円 ※バス1台あたりの助成上限、 宿泊：200,000円以内において千円単位で記載 日帰り：100,000円以内において千円単位で記載		
	参加者	___人 × ___円 = ___円 ※参加者1人あたりの助成 宿泊：5,000円以内において千円単位で記載 日帰り：2,000円以内において千円単位で記載		
	合計	___円		

様式第3号(第9条関係)

令和2年12月〇〇日

公益社団法人

びわこビジターズビューロー会長 あて

住所(法人にあつては所在地)

氏名(法人等にあつては名称および代表者氏名)

(印)

滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金 実績報告書兼交付請求書

令和 年 月 日付 第 号をもって交付決定の通知があつた上記助成事業について、下記のとおり催行しましたので、滋賀県安全安心な観光バスツアー助成金交付要綱第9条の規定により、関係書類を添えて報告し、助成金を請求します。

記

1. ツアー番号

No.1

※交付申請書と
同じ番号を記載
※実績報告内容にも
記載

2. 交付決定額

1,200,000 円

3. 交付請求額

1,100,000 円

※交付決定を受けている事業ごとに交付請求してください。

※交付決定額を超えた助成金の交付請求はできません。

添付書類(※以下の書類が揃っているか、ご確認下さい)

実績報告書

旅行内容がわかる行程表やチラシ等(日時、バス会社、観光周遊施設、宿泊施設(宿泊旅行のみ)等が確認できるもの)

県内に事業所を有するバス事業者の貸切バスを利用したことがわかる領収書(写)(バス会社、バス代金が記載されているもの)

観光周遊素材(「観光遊覧船等」、「ロープウェイ・ケーブルカー・リフト等」、「その他有料観光施設のいずれか1か所以上」)を利用したことがわかる書類(観光周遊施設名、代金ならびに利用人数が記載された領収書(写)等)

県内宿泊施設を利用したことがわかる書類(宿泊施設名、代金ならびに利用人数が記載された領収書(写)等)

【実績報告内容】

(※交付決定を受け、催行したツアーごとに実績報告内容を作成してください。)

ツアー番号

No. 1

旅行形態 (いずれかを囲む)	受注型企画旅行	募集型企画旅行
宿泊・日帰り (いずれかを囲む)	宿泊旅行	日帰り旅行
旅行者(団体名) または ツアーの名称	滋賀県ホテル宿泊ツアー	
実施日	令和2年 11月7日(土) ~ 令和2年11月8日(日)	
使用した貸切バス会社名 バスの種類 (※県内に事業所を有する貸切 バス会社に限る)	【会社名】 滋賀県株式会社	大型バス 中型バス 小型バス
	【バス会社所在地】 大津市〇〇町1-1	(↑※使用するバスの種類を囲む)
使用した観光周遊施設等	水郷めぐり	※実際の催行人数を記載
宿泊施設名 (宿泊旅行の場合)	【施設名】 滋賀県ホテル	
	【住所】 大津市〇〇町〇-〇	
参加人数	100人(運転手、添乗員等は除く。)	
助成金請求額	1,100,000円	
助成金内訳	バス	$4 \text{台} \times 150,000 \text{円} = 600,000 \text{円}$ ※バス1台あたりの助成上限 宿泊: 200,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 100,000円以内において千円単位で記載
	参加者	$100 \text{人} \times 5,000 \text{円} = 500,000 \text{円}$ ※参加者1人あたりの助成 宿泊: 5,000円以内において千円単位で記載 日帰り: 2,000円以内において千円単位で記載
	合計	1,100,000円